

学校便り

すべては
子供たちのために！

邦人社会や保護者と確かな連
携のとれた学校をめざして

バンドン日本人学校 校長 榊 勉 令和2年7月21日

<登校再開をめざして>

本校では大使館付属の強みを生かして、何とか学校での授業再開ができないかと6月19日以降動いて参りました。臨時の運営委員会を開催し、登校再開をめざすことを決議し、7月1日にはシダダップの警察署、バンドン市の保健局に出向き、登校再開の説明と協力を要請しました。6日に市長局で市の幹部に本校の概要やコロナ感染防止の取り組み状況を説明し、登校再開への理解を求めましたが、市の幹部からは「日本人学校の良さや気持ちはよくわかるが、市として1校だけの登校を認める訳にはいかないの、バンドン市がグリーンゾーンになるまで待ってほしい」との説明を受け、本校がバンドン市の中の学校であることを改めて認識させられました。感染症のレベルは悪い順に黒、赤、黄、青、緑の5色で、7月4日に黄から青に変わっています。

7月6日に実施した保護者説明会では、これらの内容と登校再開になった場合のことについて説明させていただきました。本校はバンドン市がグリーンゾーンになった2日後から登校授業を再開する予定です。

<七夕集会と児童生徒会本部主催のリモートクイズ大会>

7月1日の朝、オンラインで七夕集会を行いました。コロナウイルスの心配がなくなったら、何をしたいか、子供たちに願いごとを聞きました。「学校でみんなと遊びたい」「学校のブランコで遊びたい」「日本にいる先生たちの授業を学校で受けてみたい」など、それぞれの願いが短冊に書かれ、動画として流れました。

また、午後からは児童生徒会の本部役員が企画運営した七夕クイズ大会を行いました。本部役員が事前に考えた七夕にちなんだクイズに三択で答えていくのですが、なかなか難しく、役員の苦勞が感じられました。

<別館前の天井がすっきり>

別館前と幼稚園前、別館の中の一部の天井が雨の影響でボロボロになっていましたので、綺麗に直しました。セーフルームの天井も蟻の被害にあっていましたので全部張り替えました。きれいになって子供たちの登校を待っています。



※子供たちの学習を保証するため、夏休みを8月8日から、25日までの18日間に短縮しました。ご理解願います。

【学校の様子や連絡をブログでお知らせしております <http://bjschool.blog.fc2.com/>】

